

No. 2869

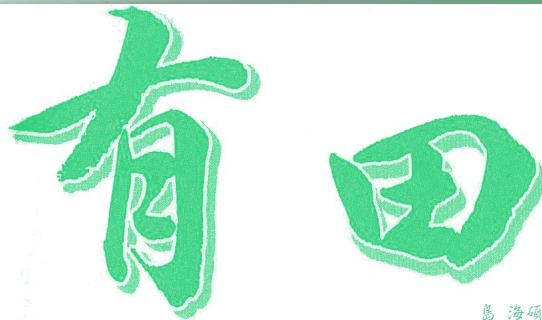
2017-2018年度

会 長 成川 守彦

幹 事 橋本 拓也

R広報委員長 應地 正章

担当：成川（雅）委員



第2640地区
例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



ロータリー
変化をもたらす

本日のプログラム

平成30年5月17日 第2870回

- ・次期会長のための時間
会長エレクト 上野山 栄作 君
- ・ソング：「みかんの花咲く丘」

前回の報告（第2869回例会）

開催日 平成30年5月10日(木)

点 鐘 (成川(守)会長)

ゲストの紹介 (上野山(捷)親睦活動委員長)

ゲスト：中島 章雄 様(榊和歌山放送 代表取締役社長
和歌山RC)

R財団功労者表彰 (中元R財団委員長)

財団大口寄付認証式



ロータリー財団より、大口寄付者の成川(守)君にクリスタルの盾とピンが届きましたので、中元R財団委員長より授与されました。

国際理解と平和という目的のために多大な支援を寄せてくださった成川守彦君に、ロータリー財団管理委員会に代わって感謝の意をお伝えいたします。このようなご寄付は、多くの人々の人生を大きく変える財団の人道的・教育的プログラムに対する成川守彦君の熱意とご支援の証であります。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

今月の誕生・結婚祝

(橋爪(誠)親睦活動副委員長)

会員誕生：中元君、應地君

配偶者誕生：橋本早百合さん、中元礼子さん

2017-2018年度クラブ方針

ロータリーを知らう

～温故知新～

次回のお知らせ

平成30年5月24日 第2871回

- ・クラブ協議会
- ・ソング：「四つのテスト」



上野山りかさん
結婚記念：上野山(捷)君



中元君：58才になります。これからはロータリアンとして頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。



應地君：今年66才になりました。まだまだしたいことがたくさんあります。有田で働き出して30年以上がたちました。



上野山(捷)君：5月1日で結婚53年目です。どうにか続いています。

ニコニコ箱の報告 (中元SAA)

成川(守)君：中島社長さま、ようこそ有田RCへ。卓話をよろしく願い申し上げます。

橋本君：中島章雄様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしく願いします。

木本君：中島様、本日の卓話宜しく願い致します。

橋爪(誠)君：中島章雄様、本日は遠い所足を運んで頂きありがとうございます。卓話よろしく願いいたします。

児島君：中島さま、ようこそ有田へ。卓話よろしく願いします。

児嶋君：中島章雄さん、卓話楽しみにしています。

橋爪(正)君：中島様、遠路わざわざお越しくださいまして

ありがとうございます。

松村君:ウラばなし、楽しみです。中島社長ありがとうございます。

川口君:中島章雄様、ようこそ有田ロータリークラブへ。
本日の卓話よろしくお願い致します。

嶋田(崇)君:中島様、卓話有難うございます。

嶋田(ひ)君:中島章雄様、有田RCへようこそ。本日の卓話楽しみにしています。

菅原君:中島様、卓話宜しくお願い致します。

上野山(捷)君:中島章雄様、本日の卓話有難うございます。

岩橋君:中島章雄社長様、卓話楽しみにしています。

上野山(栄)君:中島様、本日は卓話で勉強させて頂きました。次年度、理事会メンバーの皆様、本日は急遽の理事会ありがとうございました。

石垣(洋)君:中島様、本日卓話で勉強させて頂きました。

井上君:日曜日の桜木の手入れ、みな様、よろしくお願いします。

中元君:中島章雄様、ようこそ有田RCへ。

出席報告 (協村例会運営委員)

本日の会員数30名

(出席規定免除会員9名)

出席会員数27名

(出席規定免除会員9名)

90.00%

4/15 85.19%

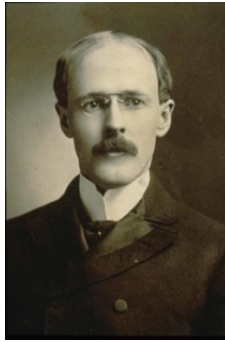
MU:成川(雅)君

会長の時間 (成川(守)会長)

先ず、地区の2020-2021年度ガバナーノミニー確定宣言について報告します。5月8日付けで、岡本ガバナーから「岸和田東ロータリークラブ 藤井秀香(ふじい ひでか)氏を国際ロータリー第2640地区2020-2021年度ガバナー候補者とすることに確定いたしました」との報告がありました。藤井氏:1996年2月岸和田東ロータリークラブ入会、職業分類:医療法人経営。2013-2014年度クラブ会長、2017-2018年度ガバナー補佐。

ところで、今日は月初めということで「国歌 君が代」を歌いましたが、4月12日のロータリーカレッジ「ロータリーの歴史」の中で、国家を歌うことになった経緯を話しました。

今日は、ロータリー創始者ポール・ハリスについて話します。『The Rotarian』誌に頻繁に寄稿をしたポール・ハリスは、ロータリー創立10年後の1915年2月に、次のようなメッセージを出しています。



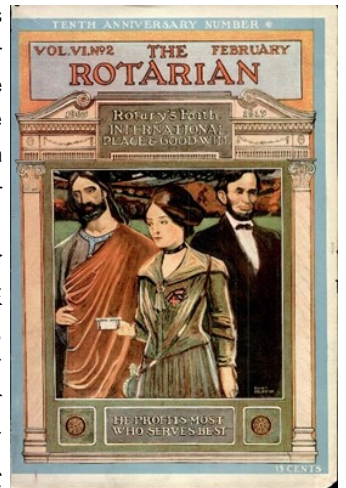
シカゴで法律事務所を開いて間もない頃のポール・ハリス(1896年)

1915年2月128ページ 第6巻、第2号
ISSN 0035-838X

出版社: Rotary International

Established in 1911, The Rotarian is the official magazine of Rotary International and is circulated worldwide. Each issue contains feature articles,

columns, and departments about, or of interest to, Rotarians. Seventeen Nobel Prize winners and 19 Pulitzer Prize winners - from Mahatma Ghandi to Kurt Vonnegut Jr. - have written for the magazine. 「ロータリーは10年の節目を迎えました。私たちの有用性が増すとともにもっと幸せがもたらされますように。ロータリーの100年後は誰一人として想像できません。今やロータリーにとって不可能なことはいのです」



ロータリーは職業における倫理を促し、「幸せを世界に与える力」を示してきたと、ハリスは述べています。倫理を重んじる哲学が事務所や店舗の壁を超えて広がっていると感じたハリスは、「幸せという目標掲げる、事業と人生における世界的哲学の先駆者」としてのロータリーを思い描きました。

未来は誰にもわからないと認めつつも、不可能を可能とする力をもつロータリーは今後さらに必要とされるだろうと、ハリスは予言しています。

創立10周年を迎えた当時のロータリーは、国際的な組織となつてほぼ3年。数カ国に141クラブしかありませんでした。今日、ロータリーには200以上の国と地域に35,000以上のクラブがあります。

(この記事は2017年2月に英語のブログサイト「Rotary Voices」に掲載された記事からの翻訳です。)

皆様は、今、1915年の100年後のロータリーにいます。ロータリーは、軌道修正をしながら、危機を乗り越え、進化し発展してきました。今から100年後のロータリーはどうなっているのでしょうか?

さて、5月は「青少年奉仕月間」です。ロータリーにおける青少年のための活動は、1920年5月、ニューヨーク・ロータリー・クラブが地元団体と協力して行った「Boys' Week(少年週間)」が始まりです。教育、よき市民、衛生、職業の分野で青少年の育成を促すためのこのイベントは大成功したそうです。1920年ロータリー国際大会で成功が報告されると、数年前に結成された活動委員会とともに「Boys' Work」プログラムが始まりました。ロータリーはこのプログラムで、地元の青少年がよき市民となるよう、少年非行、不登校、不健康を防ぐ活動に取り組むように

なり、この少年週間の行事は、たちまち世界へ広がりました。

1920年代中頃までには、25カ国、約600カ所で実施されるようになり、1928年には3,000地域で開催されています。また1924年にミシシッピ州で少年週間とともに開かれたLoyalty Day*に、少年に加えて少女も参加し、プログラムの対象が広がっていきました。

*Loyalty Day: 忠誠日 5月1日にアメリカ合衆国で祝われます。アメリカ合衆国に対する忠誠の再確認のために、そして、アメリカの自由の遺産の認知のために残される1日です。

1934年には少年週間が青少年週間(Youth Week)となり、1936年には少年・少女週間(Boys and Girls' Week)へと変わっていきました。ロータリーは後に、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年交換といった青少年や若者のためのプログラムを創設していきます。

2010年、青少年奉仕がロータリーの第5奉仕部門となりました。我々ロータリアンは指導力育成活動、地元や海外での奉仕プロジェクト、交換プログラムなどの活動を通じて若者に素晴らしい経験の機会を提供し、世界平和と異文化理解が実現されるよう活動を続け、現在に至っています。

幹事報告 (橋本幹事)

1. 他クラブより例会変更のお知らせが届いています。
2. 本日、例会終了後に定例理事会を開催します。



委員会報告

*社会青少年奉仕委員会(井上委員長)
桜木の手入れの連絡

*ロータリー財団委員会(中元委員長)
RI日本事務局財団室NEWSの以下の紹介を行った。

- ①年次寄付ゼロクラブ進捗状況
- ②5月RIレート: \$1=¥108
- ③寄付状況
- ④会長賞
- ⑤野生株によるポリオ症例数
- ⑥ロータリーショーケース
- ⑦大口寄付

卓話者紹介 (成川(守)会長)

本日、卓話をいただく株式会社和歌山放送 代表取締役社長 中島 章雄 様を紹介させていただきます。

実は、私は昨年8月29日、中島社長に依頼され和歌山RCで卓話をさせて戴きました。今日、有田RCへお越しいただいたのは、その交換卓話ということでございます。お忙しいところお越しいただき感謝申し上げます。

卓話

「元新聞記者のウラバナシ ～現ラジオ局社長として～」



株式会社和歌山放送
代表取締役社長

和歌山RC会員

中島 章雄 様

成川守彦先生には昨年、和歌山RCで卓話をさせていただいた事などのご縁で、本日卓話をさせていただきます。

記者の基本は、取材相手から信頼されること。中でも、厳格、まじめな警察官の信頼を得ることができれば、他の取材対象者から情報を得ることは難しいことではない、と思います。

国内の取材現場で最も厳しいのは、大阪府警と警視庁の担当記者。各社がしのぎを削って特ダネ競争を繰り返しています。私は、約2年間、大阪府警で捜査2課を担当しました。経済事件や官公庁の汚職事件を取材。当時、大阪の新聞社は午前3時過ぎに、朝刊をお互いに交換しており、3時半くらいに自宅の電話が鳴り、電話口でデスクが「おい、他紙に抜かれとるぞ！すぐ、幹部のところへ朝駆けしろ！」と怒鳴られました。府警を離れても午前3時過ぎに目を覚ますくらい厳しい持ち場でした。

その後は調査報道が中心です。東京高検検事にゴルフ会員権が「譲渡」されていたことを記事化。政治部時代には、首相官邸キャップの時に、日本赤軍のメンバーがレバノンで釈放された際、警察庁幹部が週末の首相官邸に深夜訪れたことから、同メンバーの亡命がレバノン政府に認められたことなどの特ダネ記事の舞台裏を披露しました。また、小渕恵三首相、野中広務官房長官、小沢一郎自由党党首などの取材を通じて、「総理の専横事項」と言われる衆院解散・総選挙を巡る攻防とその過程を、当時の記事をご覧いただきながらウラバナシをさせていただきました。

記者は、世の中が良くなることを願って真実を求めて、厳しい取材、徹底した取材を繰り返して、表面上は見えない「事実」を記事にすることを通じ、奮闘しています。

私は現在、AMラジオの和歌山放送社長。FMでも聴けるようになりました。ラジオも宜しくお願い致します。

ご清聴ありがとうございます。



閉会・点鐘 (成川(守)会長)